

1 月の予定

|            |         |
|------------|---------|
| 教会委員会、成人祝  | 11 日(日) |
| 信徒の会       | 18 日(日) |
| 子どもミサ、信徒大会 | 25 日(日) |



2015 年 1月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1  
Tel/Fax (045) 803-6141

[www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/](http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/)

2015 年 1 月 4 日

Adoration of the Magi (Bartolome Estaban Murillo, 1655-1660)

## 新春随想 — 教会の再出発にあたって —

小野寺 功

明けましておめでとうございます。

今年もキリスト教徒にとって、最も意義深いクリスマスに続いて、新年を迎えることになりました。しかし一方ではこの日は「神の母聖マリアの祭日」と教会暦で定められています。新年にあたって、この間にどのような関係があるのか、考えてみたいと思います。

この祝日は、もとは10月11日でしたが、現在は1月1日に移されています。なぜ移されたのかはわかりませんが、一昨年の「信仰年」は10月11日から始まったことだけは覚えています。そして信仰年は第二バチカン公会議五十周年とカテキズム発布二十周年を記念する意味がこめられていたと思います。

それではなぜ10月11日が選ばれたのか考えてみると、この日が公会議前の典礼歴では、「神の母マリアの祝日」にあたるからだと思われます。それは当時の教皇ヨハネ二十三世の意向に従って、あの画期的な公会議が、聖母のご保護のもとに始まったことを物語っています。

そしてこの教会の再出発を支えた聖マリアの祝日が、1月1日に移されたことには、とくに日本にとって重要な意味があると思われます。それは聖母の保護のもとに「聖霊において、キリストを通して御父へ」と向かう、日本人の心の傾向と一致するからです。

ここで私共の原点に立ち返って考えてみますと、私共の中和田教会は「神の母聖マリア」のご保護をいただいている教会であることに気付かされます。

中和田教会を訪ねる人は、前庭のマリア像が、季節ごとの美しい花々に囲まれていることに、強い印象を受けることでしょう。これを寄贈されたのは、今は亡き五十嵐貞也さんですが、この御像の前に立つとき、いつも五十嵐さんの剛直、純粋で献身的な信仰の姿がなつかしく偲ばれます。



中和田教会の歴史も、1974年の創立以来四十年を越しましたが、今ようやく地について実りの時期に入りつつあるような気がします。

そして今年度からは、画期的な委員選出制度が導入され、それぞれ希望する分野で貢献することが求められています。私は広報分野を希望しましたが、七名の方が参加されたのには驚きました。私が「広報なかわだ」に関心を持ったのは「中和田の風」の記事に動かされたからです。

私はこの記事によって、初めて信徒の方々の内面的な信仰の来歴や、生活に根ざした切実な人生観にふれて、深い感銘を受けました。そしてそこには梅村司教様の常々強調される「交わりとしての教会」を実感したのです。これが私の活動力を目覚めさせてくれたのだと思います。「中和田の風」は、私にとってはまさしく「聖霊の風」でした。

日本の元旦と「神の母聖マリア」の祝日は、すぐには結びつきませんが、今年はこのように考えて信仰の歩みを続けていきたいと思っています。本年もよろしくお願い致します。



## ～ 中和田の風 ～

## 教会に帰ろう

### － 聖書に教えられる日々 －

三人のお子さんのお父さんであり、奥様のひとみさんと微笑ましい家庭を築いておられる大宮智さん（41歳）にお話を伺いました。

#### ▲子供の頃の教会の思い出をお話ください。

一小学校一年の時、要理の子どもは40人位いました。普段の要理学校はもとより夏の合宿などみんなで遊んだことが何よりも楽しかったです。夏の合宿では幾つかの班に分かれて活動していました。私の班のリーダーはロンちゃんこと森脇信行さんでした。

中学生のとき堅信を受けました。毎週土曜日部活を終えて夕方から勉強しました。父がいつも送り迎えしてくれたこと、友達が一緒だったことが支えとなりました。今振り返ってみると怠けたい気持ちを抑え覚悟を持って自分の意志で選び取ってきたのだと思います。

高校生になると近隣教会の人たちが集まる横浜教区の学連（カトリック学生連盟）に入って夏の合宿では企画の時点から参加しました。ある時分かち合いのテーマに「いじめ」を取り上げたことがあります。実際聖書を読んでイエス様なら「いじめ」について何と言っただろうと分かち合い、大学生の助言を得ながら考えを深めていきました。その経験をもとに実際、高校であった「いじめ」を起こしている生徒たちに直接勇気を出して言えたことは聖書の分かち合いで学んだからこそだと思います。その後は彼らの方から気さくに話しかけてくるようになり良い方向に向かっていきました。

寮生活を送った大学時代と社会人になって一年目は教会へ行かない時期がありました。母が何も言わず相変わらず熱心に教会に通っている姿を見て、ある時ふと教会へ行ってみようと思いたちました。神のお導きだと思います。教会は懐かしい居場所でした。

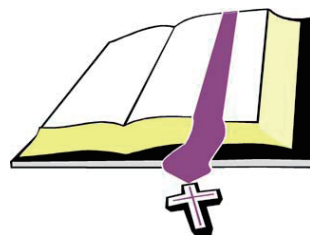
#### ▲家庭で、社会で、信仰が助けになりますか、どんな時ですか？

一私も短気なところはありますが、会社で問題が起きた時はイエス様の「右の頬を打たれたら、、、」を思い起こし、感情的にならず、相手の立場に立って冷静に考えるよう努めます。又より弱い立場の人（小さい人）の気持ちに寄り添うことが今の自分がやるべきことだと思っています。

家庭ではつい夫婦げんかをしてしまい、しばらく話さなくなることもあります。日曜日教会に行くとミサに与り、ご聖体を頂き帰ってくると、わだかまりなく自然と話していることがよくあります。日曜日教会に行くことの忙しさや大変さはありますが、確かに神に癒されていると思います。私の未熟さのために息子には訳も聞かず、頭から怒ってしまうこともあります。これは課題です。

▲先日、他教会の方がバザーに来られ子供と共に捧げるミサに与って「若い人が多くて羨ましいです」と仰いました。一方、当教会では若い世代の減少、信徒の高齢化を危惧する声も聞かれます。これについてどうお感じになりますか？

一どちらの側面もあると思いますが、二つの世代の本当の交わりがあれば問題はかなり解決できるのではないのでしょうか。私たち一人一人がもう少し勇気を持って互いの壁を乗り越える必要があるのだと思います。初聖体、堅信、夏の合宿など、年代を越え共同体全体で支えて頂けるとか、、、子供の頃、教会で大切にされた楽しい思い出がたくさんあればあるほど、教会はもう一つの帰る場所になるというのが私の実感です。



## 「聖母の園」ボランティア募集のお願い

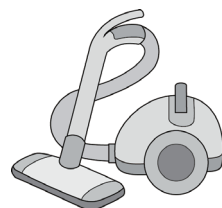
中和田教会の奉仕活動で30数年続いている「聖母の園」のボランティアですが、今までお手伝いをして下さっていた方々がだんだん高齢となり、人数が減ってきております。

「聖母の園」は明るい雰囲気施設の、職員さん達はいつも「ありがとうございます」と声をかけてくださり、気持ちよくお手伝いをすることができます。

作業内容は<シーツ交換>と<部屋のクリーナーがけ>で、中和田教会は毎月第1木曜日と第2木曜日（10時～12時）を担当しています。

月に1回（第1または第2）で結構ですから、ぜひ私達のお仲間に加わっていただきたく、よろしく願いいたします。男性のご参加も歓迎です。クリーナーがけなどしていただくと助かります。

（連絡係：中村幸子）





## ★★★ 聖劇に出演したみなさん、輝いていましたね ★★★



24日は、要理学校と中高生会の子どもたちの聖劇をやらせていただき、ありがとうございました。今年は久しぶりの聖劇でしたので不安なことも数多くありましたが、子どもたちが本当に協力的に頑張ってくれたおかげで、とてもいい劇になったと思います。来年までの課題もいくつか残りましたが、中和田教会聖劇の再スタートとして一歩を踏み出せました。11月から本格的に練習を始め、はじめはたった数行ですらつかえつかえだった子どもたちがみるみるうちに台詞を覚え(11月中に覚える宿題でした)身振り手振りも加えて演じるようになった時は本当にうれしかったです。要理学校の子どもたちがメインの登場人物を演じる中、中高生のお兄さんお姉さんが所々で小学生のみんなの支えになり引っ張ってくれました。文句も言わずに何役も引き受けてくれ、空気をビシッとしめてくれたお兄さんたちには感謝の気持ちでいっぱいです。主人公を引き受けてくれた中高生の二人にも、本当に支えてもらいました。やはり、引っ張ってくれる同年代のお兄さんお姉さんの存在は子どもたちの中でとても大きいもののようです。最後に、協力してくれたお父様お母様方、教会の皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。また来年も継続できるよう、応援よろしくお願いいたします。(森脇 留美)

## 新年のごあいさつ

教会委員長 上野 厚

明けましておめでとうございます。

本年も宜しく願い申し上げます。

冒頭から私事にわたって恐縮ですが、昨年は春期に約1ヶ月間病氣治療の為に、委員長職務を果たせず皆様にご迷惑をお掛けいたしました。とりわけこの間には神父様の御異動があり、極めて多忙な時でありました。重ねてお詫び申し上げます。

さて、教会業務全般の遂行につきましては、委員会各グループの委員のご努力により順調に推移したと考えております。特記されるものは次の3点かと思われます。

### 1. バザーの開催

信徒の高齢化問題もあり開催の是非についての議論から始まりましたが、「バザー委員会」を立上げるなどして成功裏に終わらせることが出来ました。

### 2. 地区割りの改正

従来の委員長、委員の選出方法では選出が困難なことから、これを改善するために改正されました。具体的なこれらの決定は次回の地区集会によりますが、皆様の積極的なご協力を特にお願ひ致します。尚、地区割りの改正に当たっては総務グループ(とりわけ、岩渕さん)に御尽力頂いたことをご報告します。

### 3. 神父様居住区の改装

1階浴室、2階全体の老朽化が著しくこれらを改装しました。個人的にはこれまで居住区については余りにも無関心で、これまで在任して頂いた神父様には気の毒したと反省致しております。本年度の大きな課題としては、聖堂の屋根修理、将来の聖堂建替えに備えた基金の積み立て方法の検討等が考えられます。

最後に、どのような組織でも先ず良い人間関係が大切だと言われます。幸い私達の共同体も、信仰を基本とした温かい人間関係が構築されています。この状態を末永く継続していきたいものです。



| 日  | 曜 | 典 礼         | ミ サ          | 備 考         |
|----|---|-------------|--------------|-------------|
| 1  | 木 | 神の母聖マリア（祭日） | 祭日ミサ (10:00) |             |
| 4  | 日 | 主の公現（祭日）    | 主日ミサ ( 9:00) |             |
| 9  | 金 |             | 週日ミサ ( 9:30) |             |
| 11 | 日 | 主の洗礼（祝日）    | 主日ミサ ( 9:00) |             |
| 16 | 金 |             | 週日ミサ ( 9:30) |             |
| 18 | 日 | 年間第 2 主日    | 主日ミサ ( 9:00) |             |
| 23 | 金 |             | 週日ミサ ( 9:30) |             |
| 25 | 日 | 年間第 3 主日    | 主日ミサ ( 9:00) | 子どもと共に捧げるミサ |
| 30 | 金 |             | 週日ミサ ( 9:30) |             |

委員会だより (文中敬称略)

△12月14日(日) 11名出席▽

■報告事項・その他

・1月スケジュール確認・修正

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・12月7日(日) 熊木神父様 黙想会(参加者45名)

・12月8日(月) 無原罪のマリア(祭日)(参加者25名)

・12月28日(日) 聖体賛美式

・1月2日(金) 初金ミサなし(神父様了承済)

・1月11日(日) 成人のお祝い

●財務(甲斐)

・11月30日付 決算報告

・施設寄付について討議した。

●宣教・要理(井上、森脇(留))

・リーダー会→来年度のキャンプ地の下見をして検討している(5月17日(日) 予定)

・湘南キリスト教セミナー→来年度の会場は中和田教会になるので協力をお願いしたい。

・中高生会→12月24日(水) 主の降誕ミサ前、午後7時より要理の子どもたちと聖劇をする。

●要理(裕)

・七五三のお祝いのお礼

・クリスマスに向け 聖劇の練習をする

●福祉(山本)

・ホームレス支援→お米、野菜を

戸塚教会に届けた。

・毛布を旅路の里に送った。

●総務(岩淵(英))

・来年度の各グループ委員、委員長選出について

1月11日(日)の委員会で旧委員と新委員が全員で話し合い、委員長を選出する。

決まらない場合は出席者全員で投票する。

●広報(今井)

・原稿依頼(12月24日(水) 締切り)

●行事(岩淵(洋))

・12月24日(水) 主の降誕ミサ後、お菓子を全員に配る。子供たちは次の日が学校なのでミサ後のパーティはなし。

・1月11日(日) 成人のお祝い→該当者3人、招待状を送る。図書券のお祝い、ミサ後サロン形式でお茶とお菓子。

■討議事項(上野)

・2Fのペランダ・物干し台について議論した結果、来年度1月25日の信徒大会にかけることとなった。

以上

次回委員会 1月11日(日)



12月22日(月)

泉区民クリスマス開催

泉公会堂にて泉区にある七つの教会と三つの幼稚園が参加して区民クリスマスが開催されました。平日ということもあって観客は例年より少なく250名余りでしたが、幼稚園児たちは歌やダンス、聖劇を元気に発表してくれました。ダンスはカンボジアの踊り、指導している保育士さんの一人はベトナムの方で日本の高校、短大で学んで資格を取った方です。泉区が多文化の町であることを改めて実感する一幕でした。恒例の連合聖歌隊はイエス・キリストの誕生を感謝し喜びと賛美の歌を高らかに歌い上げました。

今年のクリスマスメッセージは我々が日野神父様のお話で、子供向けの紙芝居、聖書の「良きサマリア人」に隣人愛・平和のメッセージを込めて分かりやすくお話してくださいました。

尚、朝から会場設営準備、受付、片付けに献身的にお手伝い頂いた方々には感謝を申し上げます。(広報)

